

## 旧井筒屋本館耐震補強・改修整備について

笠間稲荷周辺の魅力向上と賑わい創出を図ることを目的に、笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備の核施設となる旧井筒屋本館について、以下の内容で整備を進める。

### 1. 整備方針について

従来から本市の観光の中心である笠間稲荷周辺は、観光客の滞在時間の減少などの理由により、空き店舗が増加し、まちの魅力が低下している状況である。笠間稲荷周辺の昭和の賑わいを取り戻す為、笠間稲荷門前通りの整備に合わせ旧井筒屋本館の耐震補強と改修を行い、昭和の笠間を再現する街並みとして、旧井筒屋本館をランドマークにした整備を実施する。

### 2. 旧井筒屋本館整備内容について

観光インフォメーションや笠間の歴史展示コーナー及び市民の方が利用できる多目的ホールなど、公共スペースとしての整備を進める。

○改修する旧井筒屋本館の概要

1階：観光インフォメーションセンター、通路、事務所

2階：歴史展示コーナー(笠間の偉人、笠間城等の紹介)

3階：多目的ホール(会議室)

### 3. 概算事業費について

本館 耐震補強・改修整備 約 150,000 千円(社会資本整備総合交付金/補助率 50%)

本館前の広場整備 約 30,000 千円(一般財源)

歴史展示コーナー(笠間の偉人、笠間城等の紹介)整備 約 20,000 千円(一般財源)

### 4. スケジュール

項目/時期	H28年度		H29年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期
井筒屋本館 耐震改修	→ 耐震補強・改修及び本館前広場整備工事		→ 歴史展示コーナー(笠間の偉人、笠間城等の紹介)整備	

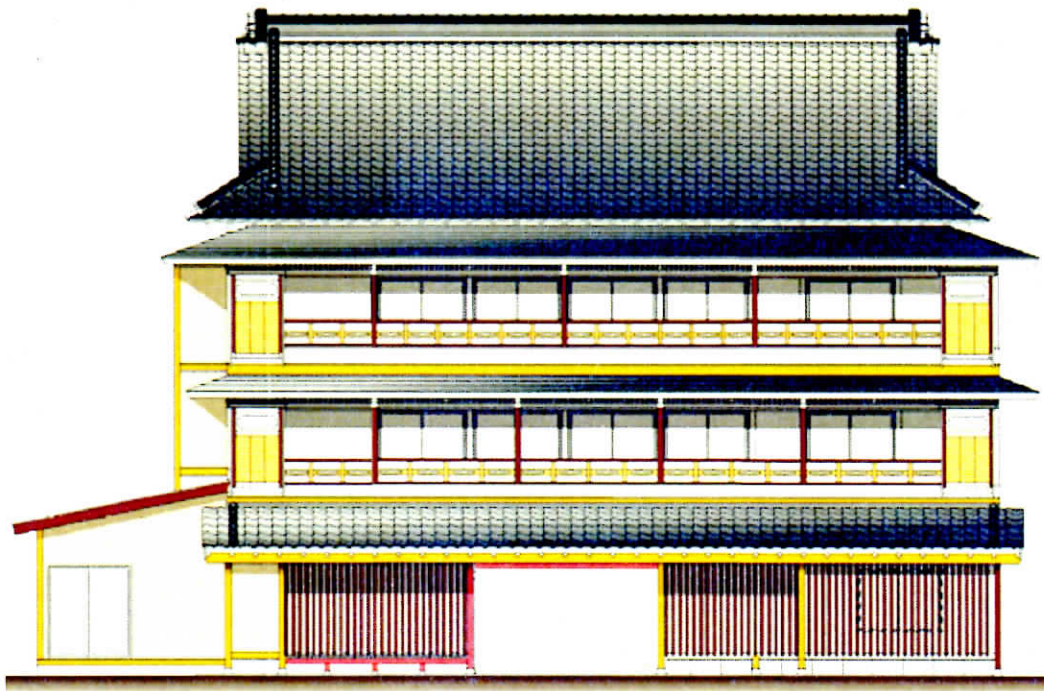
### 5. 旧井筒屋周辺整備について

旧井筒屋を中心に門前通り・笠間日動美術館・大石邸跡・佐白山・稲荷駐車場などを散策できる遊歩道等を整備し、自然・歴史・芸術などに触れ合えるエリアの整備を行う。

遊歩道及び広場等整備(歴史の小径・竹の小径、イベントスペースなど)

平成27～28年度：実施設計

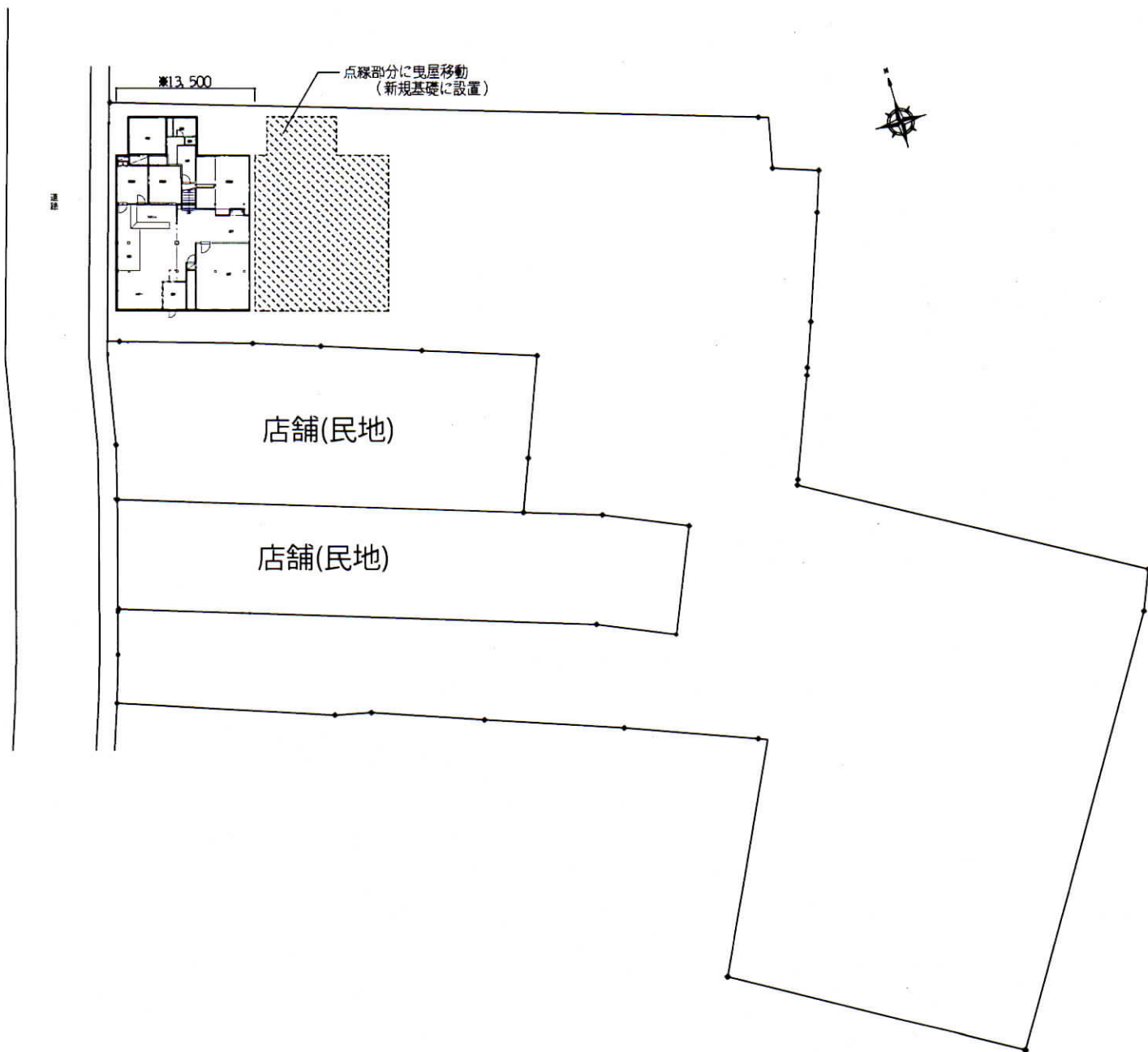
平成29～30年度：整備工事(概算事業費約270,000千円)

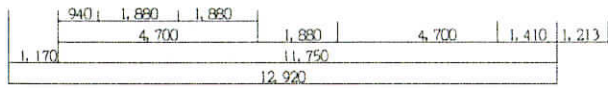


耐震補強・改修部分床面積表

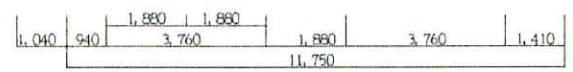
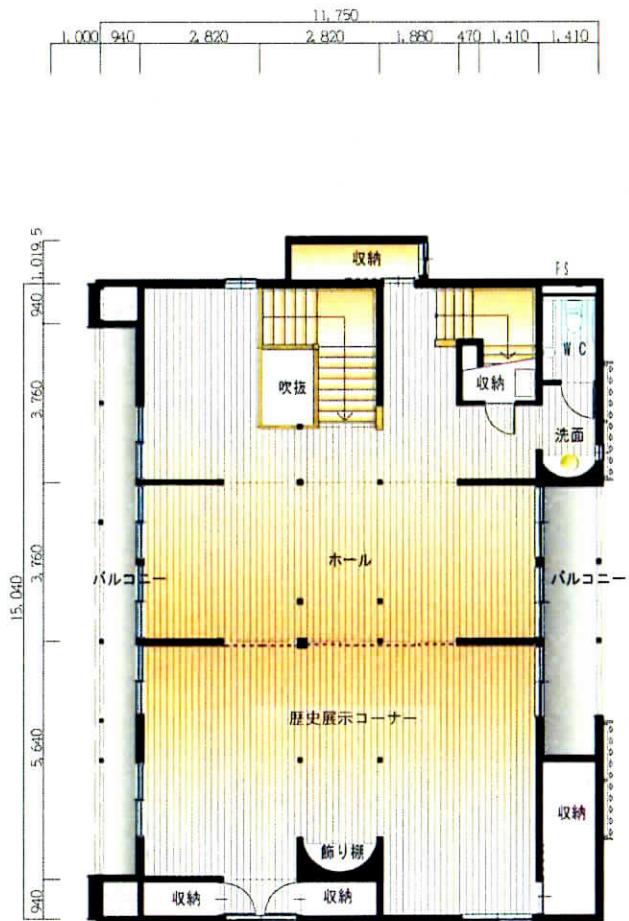
1階床面積	224.40㎡
2階床面積	154.11㎡
3階床面積	132.22㎡
延べ床面積	510.73㎡

— 西側立面図 —

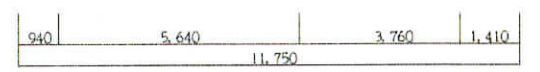




1 階 平面 図



2 階 平面 図



3 階 平面 図